

広島市
医師会運営

安芸市民病院だより

理念

私たちは 患者様の立場にたって、
信頼され 満足される、
地域に密着した医療を提供します。



「祈りの目」

知賀 結の会 寺田 博司さん
撮影地:元安川(平和公園)

新任挨拶



消化器内科副部長
若井 雅貴

2021年4月より、安芸市民病院内科に着任しました若井雅貴と申します。平成23年度に鳥取大学を卒業し、これまで広島大学病院、JA広島総合病院で消化器内科領域を中心に診療を行ってまいりました。内視鏡検査・治療や炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病など）を専門としております。

令和元年12月、中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症は全世界に広がり、現在もなお終息が見えない状況にあります。日本においても未だ感染者は増大傾向にあり、国民は日々の活動を制限され、また、病院においても入院患者様とのご面会を制限せざるをえず、ご家族の方には大変なご不安、ご心配をおかけしているものとお察しします。現在、国を中心としてワクチン接種普及が進められております。医療従事者も1日も早い終息を願い、ワクチン接種や日々の患者様の診療を行っています。国も病院も従来の姿を取り戻せるよう、今後も微力ながら努力を続けていきたいと思っております。

まだまだ慣れないことも多いですが、患者様・地域の皆様に貢献できるよう精一杯努力致しますのでよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策

2019年末に中国湖北省武漢市付近でコロナウイルスによる新型肺炎の感染が確認されました。その後、COVID-19の世界的流行 (pandemic) を引き起こし、日本国内でも社会活動、経済活動に多大な影響を及ぼしています。

当院では、「思いやりのある“うつさない”“うつらない”感染対策」をスローガンに取り組んでいます。これまで当たり前になっていたことができない環境となり、葛藤を抱えながら医療や看護を提供しています。職員は、感染対策を実践しつつ、患者様やご家族とのつながりを大切に考えています。

COVID-19対策が始まって1年が経過した時、管理者からスタッフへ“ありがとう”のメッセージをいただき、掲示しました。

このように当院の感染対策は、「感謝」や「つながり」を忘れることなく取り組んでいます。終息が見えないコロナ禍ではありますが、これからも安全で優しく確かな医療や看護が提供できる医療提供体制を維持していきたいと思えます。

(感染管理認定看護師 島中 延枝)



感謝

コロナ禍で頑張っている皆さんへ

ありがとう

コロナ禍が始まり1年が過ぎました。皆さんのおかげで院内感染を防いでいます。ワクチン接種が終わるまで辛抱しましょう。

院長 末田泰二郎

職員皆さん、いつも感謝しております。ありがとうございます。

副院長 吉川一紀

マスクの中の「笑顔と強い意志」いつも感じています。感謝でいっぱいです!

副院長 川崎純子

皆様の身体的な強さを肯定できて、心の下の思いです。ほんとうに有難うございます。病院として皆様と寄り添って支えていければと思っています。まだまだコロナとの闘いは続きますが、よろしくお願ひ致します。

事務部長 元田芳行

様々な思いや不安がある中、患者さんの前では毅然とした態度で業務を遂行している姿に感動しています。本当にありがとうございます!

皆さんの「医療従事者である」というプライドと覚悟を感じさせてください。1年でした。まだまだ安心できない状況ではありますが、共に力を合わせて乗り越えていきましょう。今後もよろしくお願ひします!

看護部長 萩原七帆子

災害、感染に負けず、地域のために活きる病院として、これからも一緒にがんばっていきましょう

地域包括ケアシステム推進部長 松田早苗

辛い日々が続いていますが早くコロナを鎮息させて、また正々堂々と大勢で打ち上げ会ができる日を来させましょう!

透析部長 山中啓司

コロナの広島製薬から1年がたちました。私たちの努力と忍耐が自身を守り、患者さんを守り、病院を守り、地域を守ってきました。患者さんとご家族との大切な時間を代償にしながらも、それでもこの病院を1年間守りきりました。これが私たちの誇り。そしてこれからも、これが私たち安芸市市民病院の使命。皆で力を合わせていきましょう。この誇りをともに生きていきましょう。

緩和ケア部長 松浦将浩

コロナ禍で頑張る職員の皆さんへ

Thank you

2020年1月16日、日本国内で初の新型コロナウイルス感染者を確認。2月4日、ダイヤモンド・プリンセス号横濱浜港に到着。2月5日、新型コロナウイルス感染者を確認。あの頃、1年後も日本全国が現在のような状況におかれることを想像できたのだろうか・・・。

私たちは、もう1年以上、新型コロナウイルス感染症対策を実践しています。時には不安を抱え、恐ろしさを感じ、いつ終わるのだろうかと思いを巡らせながら。

このような中、職員の皆さんのご理解・ご協力のおかげで院内クラスターを発生することなく、医療提供体制が維持できていることに感謝申し上げます。

職員のみなさん、“うつさない”“うつらない”思いやりのある感染対策に取り組んでいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスワクチン接種

当院の理念「私たちは、患者さんの立場に立って、信頼され満足される地域に密着した医療を提供します。」を基に、病院長をはじめ、全部署の協力を得て、“地域医療貢献”を合言葉に「新型コロナウイルスワクチン接種(以下、「ワクチン接種」とする)」を病院全体の事業として始めました。

これまでに3,500回(医療従事者含む)を超えるワクチン接種を行っています。

ワクチン接種をしても新型コロナウイルス感染症の感染をゼロにできるわけではなく、ワクチン接種者が感染することは今後も起こりうると思いますが、重症化する頻度は低くなるだろうと期待されています。

今後もワクチン接種を希望される住民の方々が安全に接種できるよう、感染対策を講じながら、職員一丸となって、遂行します。

(感染管理認定看護師 島中 延枝)



会場の様子



令和3年 インフルエンザ小児科集団予防接種

- 対象／生後6ヵ月～中学3年生
- 日程／令和3年10月30日(土)、令和3年11月13日(土)、令和3年11月20日(土)、令和3年11月27日(土)
令和3年12月11日(土) ※2回目の接種者のみ対象
- 時間／受付時間…8時45分から11時まで ※12月11日(土)は8時45分～10時30分となります
- ★予約制となっています。(10月1日より予約開始)
- ★新型コロナウイルス対策にご協力をお願いします。
- ★新型コロナウイルスの流行によっては、予定が変更になる場合もあります。詳しくはHPをご覧ください。

